

令和 6 年度

運営に関する計画

大阪市立加島小学校

現状と課題

本校は、校訓を「元気に、本気で、根気よく」と定め、学校教育目標を「人権尊重の教育を基盤とし、『確かな学力』と『豊かな人間性』を持った子どもを育てる」と設定し、これまで教職員、保護者、地域住民と共に連携し、一人一人の児童の実態に柔軟に対応しながら、丁寧な教育活動を邁進してきた。その成果もあり、本校の児童は人懐っこく朗らかである。

コロナ禍を経て、昨年度は様々な学校行事をはじめとする教育活動の多くは見直しを行なながらも通常の形に戻った。不登校や学習意欲などの課題は依然見られるものの、教職員による児童の課題に対応した柔軟な取り組みや、保護者、地域の方々のサポートにより、児童が安心できる学校づくりを推進することができた。不登校児童の減少の成果はその大きな成果である。今年度もひとりひとりの児童に寄り添った指導、支援にあたるよう心がけていきたい。

最重要目標ごとの昨年度の目標の結果と、大阪市教育振興基本計画のR6年3月の内容の追加を受け、中期目標の見直しや数値変更を行うこととする。

【安全・安心な教育の推進】に関する昨年度の目標に関する課題

- 昨年度の全国学力・学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」（本市平均－1.2%）と「学校に行くのは楽しいと思いますか」（本市平均－0.8%）の質問項目における、肯定的な回答は全国平均をやや下回る結果となった。
- 経年調査での「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか。」に対して3時間以上と回答する本校児童の割合が63.4%となっておりR5の全市平均の29.8%の2倍以上の数値となっている。「ノーメディアデー」や「ヨドネル」等の取り組みなど、家庭への啓発を含めた取り組みを更に進めるとともに、PTAや地域での研修や講演会の開催を進めるなど、課題の共有と啓発を進めたい。
- 不登校については、教職員が様々な児童の実態に対応しながら、保護者と丁寧に連携し、安心して登校できる環境づくりを行ってきた。児童の実態に寄り添いながら、これまでの取り組みに工夫を重ね、継続して対応を進めたい。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】に関する昨年度目標に関する課題

- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対市比については、同一母集団において標準化得点を昨年度と経年的に比較したところ、
 - ・現4年生 国語98.5p→95.1p (-3.4p)、算数98.7p→95.3p (-3.4p) 学年-3.4
 - ・現5年生 国語95.8p→95.4p (-0.4p)、算数95.3p→96.7p (+1.4p) 学年+0.5
 - ・現6年生 国語93.4p→94.1p (+0.7p)、算数91.4p→96.7p (+5.3p) 学年+3.0という結果となった。

いずれの学年も前年度より1ポイント向上させるという目標には到達しなかったが、きめ細やかな指導の成果が出ていると捉えている。

一方で、R5年度の全国学力・学習状況調査における学力に課題の見られる児童の割合については、国語科が53.2%（本市割合25.1%）、算数科が48.1%（本市割合21.1%）となっており、どちらも2倍以上の開きとなっている。今回の中期目標の見直しについては、「学力に課題の見られる児童の割合」に重点をおき、基礎基本の定着に取り組み、個々の学力課題に応じた学習を進めていきたい。

続いて「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」という質問項目については、最も肯定的な「好き」と回答する児童（3～6年生）の割合は70%という結果となった。目標とする80%以上に到達できなかつたが、様々な運動に親しむ週間や、体育の授業、休み時間の鉄棒等の外遊びに、意欲的に参加する児童が多く、全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、男女ともに全国平均値を2年連続上回っていることから、継続して取り組みを継続していきたい。

【学びを支える教育環境の充実】に関する昨年度の目標に関する課題

- 全市共通目標の「学習者用端末を活用した学習を週3回以上（60%以上）実施する」、については、授業での端末活用と合わせ、特に2学期後半からは「心の天気」の活用推進もあり日々のスクールライフノートの活用率は増加した。12月の月間使用率については平均76.6%となり、年度目標については達成することができた。しかし、今回、次年度からの教育DXの推進に関する本市目標設定（全校一律の目標）の追加により、中期目標の見直しを行う。「心の天気」「相談機能」の日々の活用、日頃の学習活動での学習者用端末の効果的な活用をさらに推進し、スクールライフノート活用の習慣化を推進する。
- また、教職員の時間外勤務時間の一昨年度と昨年度の比較では、各月約計125分減少させることができた。これは4月から1月までの昨年度の教職員の時間外勤務時間と比較すると約8.07%の時間外勤務時間の削減となっている。今後も教育活動の質をさらに高めながら、学校行事の精選、業務内容の見直し、業務量の平均化、専科制の導入、学校閉庁日や午前中授業の設定等をすすめたい。
今回の中期目標の見直しでは、有給休暇の取得日数を目標として加えたい。
- 学校の年度目標の、「週に1時間以上の読書習慣の定着をめざす」については、本年度の学力経年調査での「学校の授業時間以外に、ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」という質問項目に「1日10分以上（1週間で70分）～1日2時間以上」と回答した児童は49%となっている。同様項目の市平均は57.6%となっていることから、読書習慣の定着には課題がみられる。また、全く読まない児童（3～6年生）は31.4%となっており、大阪市の平均24.1%を上回っている。読書週間の定着については、昨年度より様々な取り組みを進めている。継続して取り組みを進めたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
- 「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して、3時間以上と回答する児童の割合を25%以下とする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における学力に課題の見られる児童の割合（%）を国語科、算数科ともに25%以下とする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の体力合計点の対全国の平均値を上回る割合（1.00）以上を継続する。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上とする。
- 第2期「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を80%以上とする。
- 学校図書館貸出冊数の一人当たりの冊数について、年度当初の個人目標を達成した児童の割合を75%以上とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

「基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現」より

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、82%以上にする。
- 「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらいSMS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して、3時間以上と回答する児童の割合を30%以下とする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

「基本的な方向4 だれ一人取り残さない学力の向上」より

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査における学力に課題の見られる児童の割合(%)を国語科、算数科ともに30%以下とする。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査の体力合計点の対全国を男女ともに前年度より1ポイント向上させる。

「基本的な方向5 健やかな体の育成」より

【学びを支える教育環境の充実】

「基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」より

- 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の40%以上とする。※教育DX…学校教育や教員の仕事などにデジタル技術を活用することで変革を起こす施策のこと。

「基本的な方向7 人材確保・しなやかな組織づくり」より

- 第2期「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を75%以上とする。
- ゆとりの日を週1回以上設定・実施し、午後6時までには退勤する。

「基本的な方向8 生涯学習の支援」より

- 学校図書館貸出冊数の一人当たりの冊数について、年度当初の個人目標を達成した児童の割合を70%以上とする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式 2)

大阪市立加島小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標（全市共通目標を含む）	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 「基本的な方向 1 安全安心な教育環境の実現」より ○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 82%以上にする。 ○本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらい SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して、3 時間以上と回答する児童の割合を 30%以下とする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【2 豊かな心の育成】 ●一人ひとりの違いを認め合う集団を作る。 (多文化共生教育の推進)(いじめへの対応)</p> <p>指標 ・障がい、国際、性自認などを取り扱った授業を各学年で年間 1 回以上実施する。 ・いじめアンケートにおいて「いじめたことがある」「いじめられたことがある」と回答した児童について、その後 100%の解消を目指して継続指導を行う。</p>	
<p>取組内容②【2 豊かな心の育成】 ●児童の良いところや達成できたところを見つけて認められる、自己有用感を高める。 (人権を尊重する教育の推進)</p> <p>指標 ・アセス調査にかかる研修会を年 1 回以上開催し、調査結果を有効活用する。 ・児童理解研修会を年 2 回以上実施する。</p>	
<p>取組内容③【1 安全・安心な教育環境の実現】 ●児童の発達段階に応じた健康に関する指導を推進し、日常より基本的生活習慣について徹底するように取り組む。 (健康に関する現代的課題への対応)</p> <p>指標 ・生活チェックカードを年間 3 回することで基本的生活習慣の定着をはかり、保護者アンケートの「ゲームやスマートフォンを使う時間について」の項目で、「使う時間が決まっている」と肯定的な回答する保護者の割合を昨年度より上昇させる。 ・毎月 20 日はノーメディアデーを設定する。 ・学校保健委員会において、児童の早寝早起きの意識を高める。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

最終評価へ向けての改善点

(様式 2)

大阪市立加島小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標（全市共通目標を含む）	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>「基本的な方向 4 だれ一人取り残さない学力の向上」より</p> <p>○ 小学校学力経年調査における、国語科、算数科の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年に比較し、国語科、算数科とともにいずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。</p> <p>「基本的な方向 5 健やかな体の育成」より</p> <p>○ 全国体力・運動能力、運動習慣調査の体力合計点の対全国を男女ともに前年度より 1 ポイント向上させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容④【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>●学力向上に向けて授業力向上に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">（「主体的・対話的で深い学び」の推進）</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に関わる研修会を年間 5 回以上実施する。 ・3 つの学年を意識した授業の割合を 80% 以上にする。 ・教員アンケートにおいて、授業力向上を実感した割合を 80% 以上にする。 	
<p>取組内容⑤【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>●子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">（言語教育・理数教育の充実）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年を対象としたアンケートで「漢字の練習に取り組むことで、漢字に自信が持てるようになった」という質問に肯定的回答する児童の割合を 80% 以上にする。 ・さみどりタイムで「自分の課題とする学習に取り組むことができた」と回答する児童の割合を 70% 以上とする。 	
<p>取組内容⑥【5 健やかな体の育成】</p> <p>●児童の体力・運動能力の向上に向けて、運動・スポーツに楽しく参加できる学校行事、各種取組を実施し、運動やスポーツに親しむ機会を増やす。</p> <p style="text-align: right;">（子どもの体力・運動能力向上のための取組の充実）</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会以外に体育的行事を年間 1 回以上実施する。 ・校内アンケートの「運動をすることが好きである」の項目の児童の肯定的回答率を 80% 以上にする。 ・体の動きを高める運動を体育の授業等で取り入れ、年度末までに反復横跳びの平均記録を全国平均以上になることを目指す。（5 年） 	

取り組み内容⑦【5 健やかな体の育成】

- 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を児童の発達段階に応じて身につけるように取り組む。

(食に関する指導の充実)

指標

- ・食育に関する授業を各学級年間2回以上行い、望ましい食生活の意識を高める。
- ・各学級において、給食だより発行の際に内容の紹介を行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

最終評価へ向けての改善点

(様式 2)

大阪市立加島小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標（全市共通目標を含む）	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>「基本的な方向 6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」より</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業日において、児童の 8 割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上とする。※教育 DX…学校教育や教員の仕事などにデジタル技術を活用することで変革を起こす施策のこと。 <p>「基本的な方向 7 人材の確保・しなやかな組織づくり」より</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第 2 期「学校園における働き方改革プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 70%以上とする。 ○ ゆとりの日を週 1 回以上設定・実施し、午後 6 時までには退勤する。 <p>「基本的な方向 8 生涯学習の支援」より</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館貸出冊数の一人当たりの冊数について、年度当初の個人目標を達成した児童の割合を 70%以上とする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑧【6 教育DXの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一人一台端末を効果的に授業で活用する。 (ICT を活用した教育の推進) <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員全員が、校内外で開催される ICT を活用した授業実践にかかる研修会、実践発表会に年間 1 回以上受講する。 ・日々の「心の天気」の入力を、学習者端末により出席者の 80%以上行う。 ・学習者用端末を活用した授業、教材研究を ICT 支援員に相談、活用して実施する。 	
<p>取組内容⑨【8 生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●読書環境の充実を図り、読書習慣の定着を図る。 ●読書タイム、読み聞かせ活動の充実を図る。 (学校図書館の活性化) <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室や教室の読書環境を年間 2 回（夏季・冬季休業期間）見直す機会を設ける。 ・個人の目標読書量（読書手帳を活用）を設定し、その達成を 70%めざす。 ・個人の本の貸し出し冊数を 1~4 年生は 40 冊以上、5・6 年生は 30 冊以上をめざす。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

最終評価へ向けての改善点